

多賀町立多賀幼稚園

日時：2021年11月19日（金）14:00-17:15

2021年11月30日（火）9:00-16:30

場所：滋賀県犬上郡多賀町久徳 348

多賀町立多賀幼稚園は、集落の細い道を通った先にあります。今回は、多賀幼稚園の園庭で研修をおこないました。大きなクスノキやサクラをはじめとした様々な木が、子どもたちを見守るように立っているすてきな園庭でした。そんな木々や葉っぱと一緒に遊ぶプログラムが作成・実践され、子どもたちの園庭や木々への思い入れがより一層強くなったように感じました。

講座、プログラムづくり、作成したプログラムの実践とふりかえりをおこないました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

葉っぱで絵をつくろう！

赤や黄色に色づいたサクラの葉っぱを集めて、2グループに分かれて絵をつくりました。テーマは「秋」。みんなで相談しながら葉っぱの色や形をを考えて作り、お互いに何を描いたのか当て合いました。

最後に、グループ全員で布の端を持ち、勢よく振り上げました。風に乗ってサクラの葉っぱがひらひらと舞い降りて、とてもきれいでした。



「何をつくろう？」
「秋といえば…？」
真剣に話し合っています。

「3・2・1…えい！」
どんな風になるのかな？
違うグループの方も興味津々です。



みつめよう！ぼく・わたしのたからもの☆

園庭に葉っぱゾーン・枝ゾーン・石ゾーンを作ります。子どもたちに、園庭にある「お気に入りの葉っぱ」を選んで葉っぱゾーンへ行き、お友だちにその葉っぱの好きなところを言ってジャンケンし、勝ったら枝ゾーンへ進化し、お気に入りの枝を探すことを伝えます。枝ゾーンでも勝ったら、石ゾーンへ進化します。また、勝ったら葉っぱや枝を宝物ボックスへ入れ、負けたら同じゾーンで勝つまでジャンケンをします。最後に宝物ボックスに入れたものを友だち同士で見比べ、同じ葉っぱ・枝・石であってもそれぞれ違いがあることを伝えます。



「この葉っぱの好きなところは…」

お気に入りの葉っぱ・枝・石を、大切に宝物ボックスへ入れています。



みんな、色も形もちょっとずつ違うけど、どれもすてきだね！

探して！感じて！作ってみよう！

2チームに分かれて、保育者が見せた葉っぱが園庭のどこにあるか、子どもたちと一緒に探しに行きます。葉っぱの色や形、感触やにおいを楽しみながら、見本と同じ葉っぱがどの木の葉っぱかを知っていきます。その後全員で集まって、絵本「みのむしぼうやのおうち」を読み、泣き顔の手作りミノムシが笑顔になるように葉っぱをくっつけて洋服をつくろうと子どもたちに提案します。

集めてきた葉っぱをテープで貼り付け終わったら、ミノムシをつける木をどれにするか子どもたちに聞きます。「あったかいところにつけたらどうだろう？」という声があったので、大きなクスノキにつけることにしました。



「葉っぱ、いっぱい持って来たよ！」「ここが寒そうだから、くっつけてあげよう！」
みんなで協力してお洋服づくりをします。



ミノムシってどういう生きもの？絵本でミノムシについて学びます。



にこにこ笑顔のミノムシ。
これなら無事に冬を越せそうです。
クスノキの木と一緒に子どもたちを見守ります。

プログラムを終えてのふりかえり

- ・自然物をよく観察することを今までやってなかったので、子どもと共に楽しめた
- ・葉っぱ一つを観察することが無かったので、これからやってみたい
- ・初心に返って指導案づくりができた
- ・メッセージ性を意識することで子どもたちが楽しんでくれていたと感じた
- ・ドキドキしたけど楽しかったという気持ちが園児から感じられた
- ・ここまで自然を意識して保育できてなかった
やってみると子どもが自然に触れてイキイキしていて普段見られない姿が見られた
- ・葉っぱ1枚でこんなに遊べるのか！と新鮮な気持ちになった
ねらいがとても大切だとわかった、子どもの成長を感じられた
- ・1人じゃ気づけないことをグループで話し合うことで気づき、こういう保育もあると知れた
多賀幼稚園ほど周りに自然はないが、散歩をしてたくさん自然に触れていきたい
- ・応募してよかった、園の良さを再発見できた
落ち葉の掃除は大変だが、それを使った遊びができることを貴重に思っていていきたい
- ・事前準備があったからこそ、子どもに対応でき、思い切り楽しめたのだと感じた